

2020～2023年度卒業時アンケート 経年比較・分析編

1.回答数

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	
全体	196[人]	(89.3%)	175[人]	(85.0%)	193[人]	(92.3%)	234[人]	(94.4%)
薬学部薬学科	43[人]	(97.7%)	45[人]	(88.2%)	51[人]	(89.5%)	57[人]	(91.9%)
看護学部看護学科	81[人]	(86.4%)	66[人]	(90.4%)	71[人]	(88.8%)	73[人]	(96.1%)
健康医療科学部作業療法学科	-	-	-	-	15[人]	(100.0%)	24[人]	(85.7%)
健康医療科学部理学療法学科	-	-	-	-	53[人]	(100.0%)	55[人]	(98.2%)
心理学部臨床心理学科	-	-	-	-	-	-	25[人]	(96.2%)

2.設問について

(1)設問1～8、28、29、31の評価方法は、次の重みづけをして平均を求めている。

項目	加点
満足	1.0
どちらかといえば満足	0.5
どちらともいえない	0.0
どちらかといえば不満	-0.5
不満	-1.0

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない4段階評価としている。

(2)設問10～23の評価方法は、次の重みづけて加点している。

項目	加点
身についた	1.0
どちらかといえば身についた	0.5
どちらでもない	0.0
どちらかといえば身についていない	-0.5
身についていない	-1.0

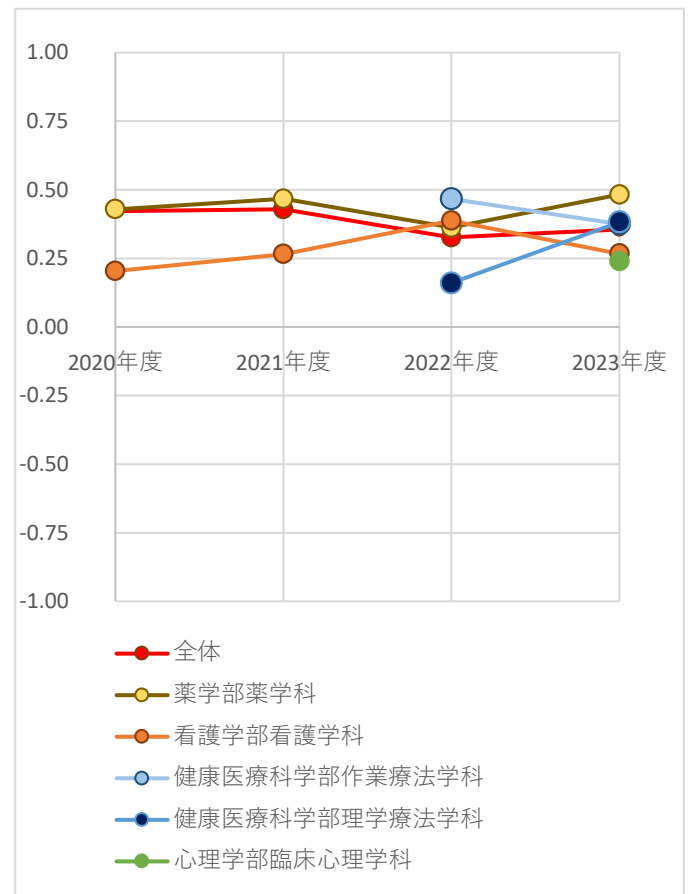
(3)設問32として、2022年度よりNPS(Net Promoter Score)を算出し、これを用いた分析を行っている。

■教育に対する満足度について

1. 初年次教育について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.42	0.43	0.33	0.35
薬学部薬学科	0.43	0.47	0.36	0.48
看護学部看護学科	0.20	0.27	0.39	0.27
健康医療科学部作業療法学科			0.47	0.38
健康医療科学部理学療法学科			0.16	0.38
心理学部臨床心理学科				0.24

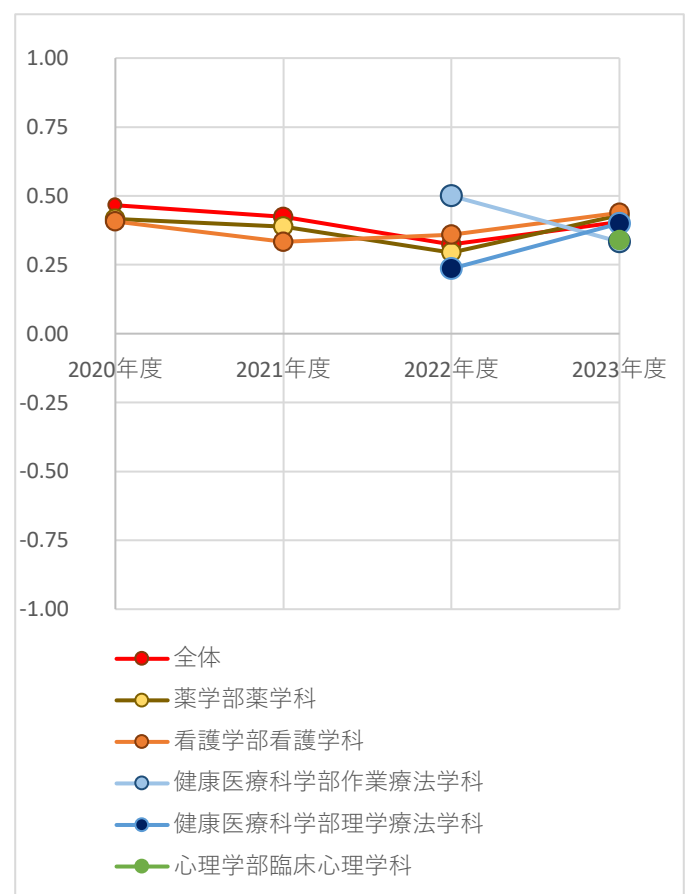
※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。



2. 一般教養科目について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.47	0.42	0.32	0.41
薬学部薬学科	0.42	0.39	0.29	0.43
看護学部看護学科	0.41	0.33	0.36	0.44
健康医療科学部作業療法学科			0.50	0.33
健康医療科学部理学療法学科			0.24	0.40
心理学部臨床心理学科				0.34

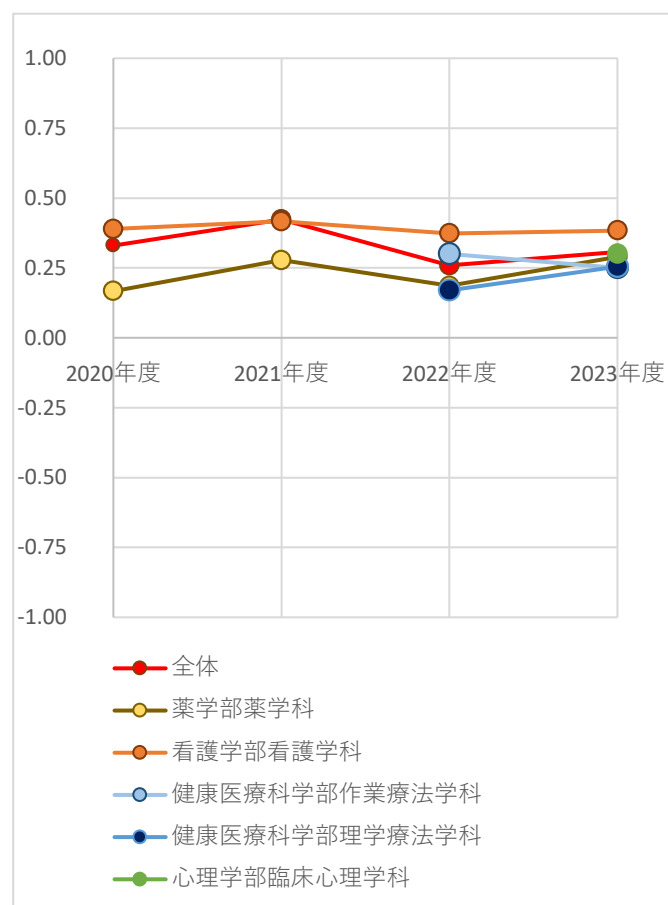
※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。



3. 外国語科目について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.33	0.42	0.26	0.31
薬学部薬学科	0.17	0.28	0.19	0.29
看護学部看護学科	0.39	0.42	0.37	0.38
健康医療科学部作業療法学科			0.30	0.25
健康医療科学部理学療法学科			0.17	0.25
心理学部臨床心理学科				0.30

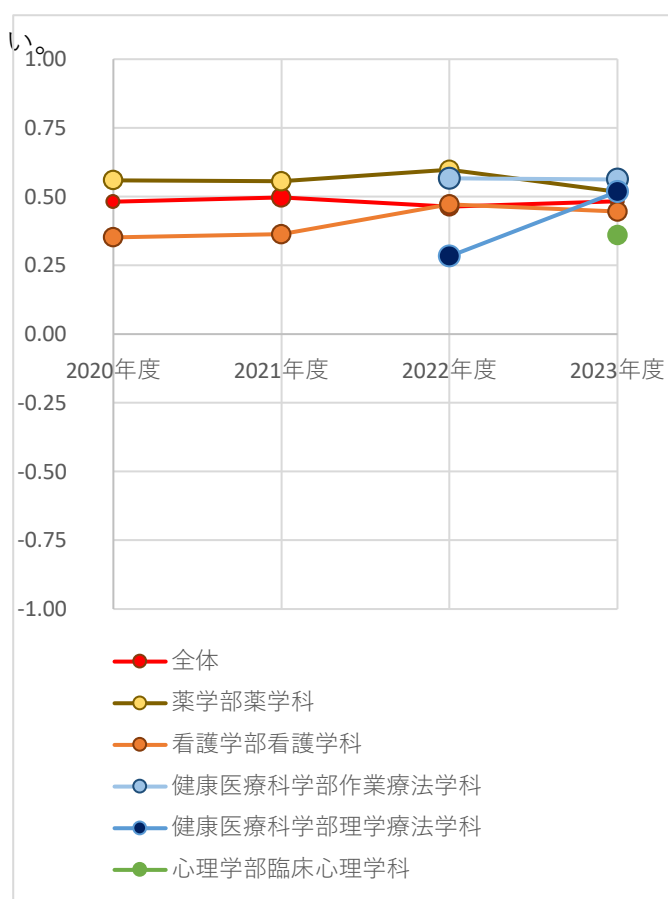
※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。



4. 学部学科の専門教育について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.48	0.50	0.46	0.48
薬学部薬学科	0.56	0.56	0.60	0.52
看護学部看護学科	0.35	0.36	0.47	0.45
健康医療科学部作業療法学科			0.57	0.56
健康医療科学部理学療法学科			0.28	0.52
心理学部臨床心理学科				0.36

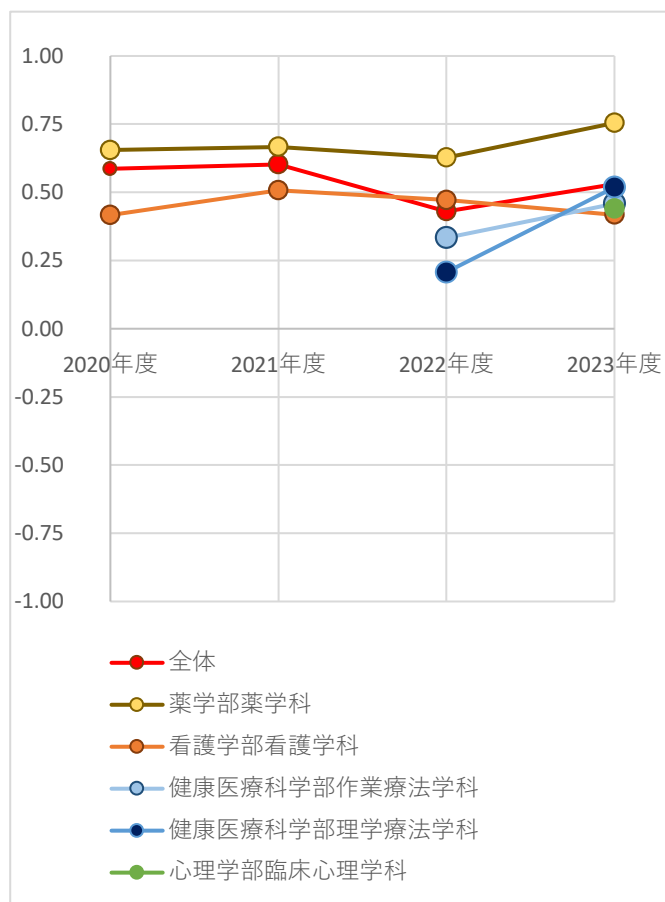
※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。



5. ゼミナールについて、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.59	0.60	0.43	0.53
薬学部薬学科	0.65	0.67	0.63	0.75
看護学部看護学科	0.42	0.51	0.47	0.42
健康医療科学部作業療法学科			0.33	0.46
健康医療科学部理学療法学科			0.21	0.52
心理学部臨床心理学科				0.44

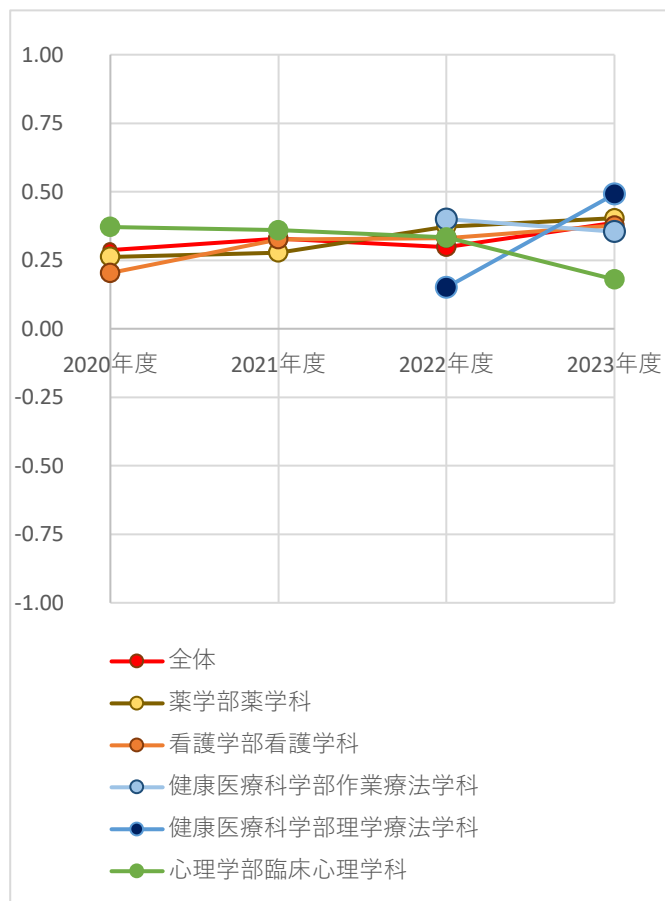
※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。



6. キャリア教育について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.29	0.33	0.30	0.39
薬学部薬学科	0.26	0.28	0.37	0.40
看護学部看護学科	0.20	0.33	0.33	0.38
健康医療科学部作業療法学科			0.40	0.35
健康医療科学部理学療法学科			0.15	0.49
心理学部臨床心理学科	0.37	0.36	0.33	0.18

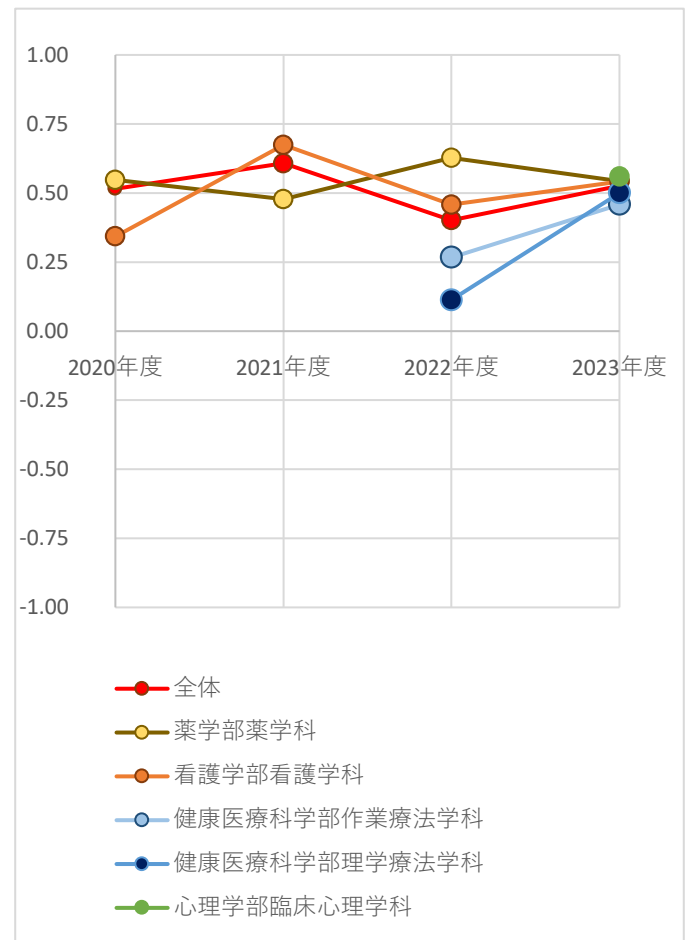
※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。



7. 卒業研究について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.52	0.61	0.40	0.53
薬学部薬学科	0.55	0.48	0.63	0.54
看護学部看護学科	0.34	0.67	0.46	0.54
健康医療科学部作業療法学科			0.27	0.46
健康医療科学部理学療法学科			0.11	0.50
心理学部臨床心理学科				0.56

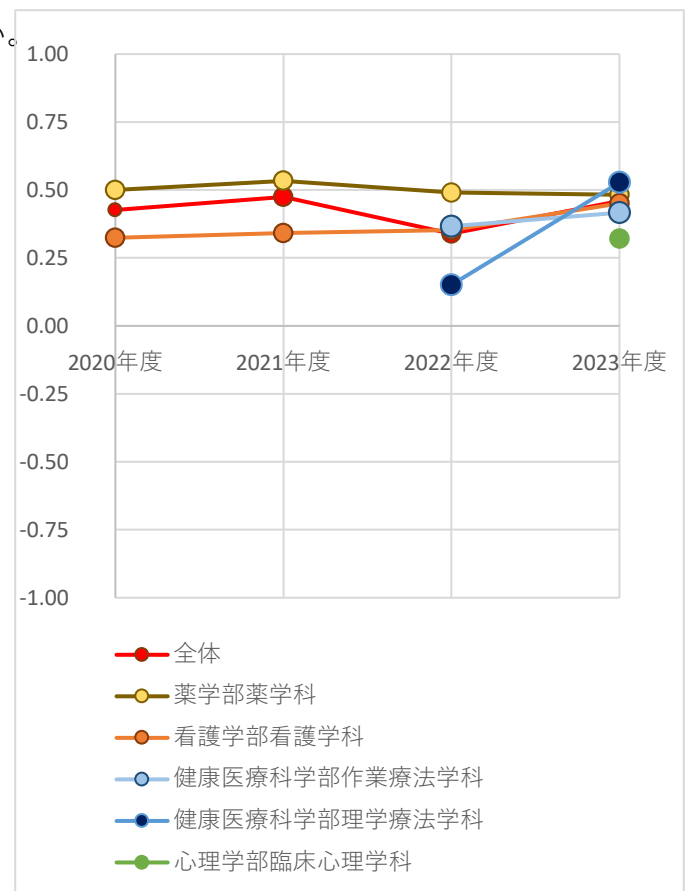
※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。



8. カリキュラム全般について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.43	0.47	0.34	0.46
薬学部薬学科	0.50	0.53	0.49	0.48
看護学部看護学科	0.32	0.34	0.35	0.45
健康医療科学部作業療法学科			0.37	0.42
健康医療科学部理学療法学科			0.15	0.53
心理学部臨床心理学科				0.32

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。



9. 設問1～設問8の「教育に対する満足度」について、具体的な内容がありましたら、お書きください。

詳細は詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

薬学部薬学科

学部外の選択科目には意味がないと感じる声があり、他の学部からの偏見も指摘されている。
教育熱心な先生や充実した講義に対する肯定的な意見がある一方で、一部の不満や問題点も指摘されている。
薬学部としての専門的な教育や国家試験対策に満足している声もある。
学生個人へのフォローや、グループワークを通じた成長に関する肯定的なコメントもある。

総じて、学生たちは教育環境やカリキュラムについてさまざまな意見を持っており、改善の余地があると同時に、満足している点もあるようです。

看護学部看護学科

先生による教え方には差があり、楽しい講義とそうでない講義の感じ方に違いがある。
教育内容や先生のサポートには一定の満足があるが、一部の問題点も指摘されている。
教育環境やカリキュラムの改善が望まれており、特に実践的な演習や実習機会の充実が求められている。
オンライン授業や遠隔教育に対する質についての懸念や改善点が指摘されている。
全体的に、親身な先生方の指導やサポートに感謝する声が多いが、教員の質や連絡の不備などの問題もあるようだ。

これらの意見を踏まえて、教育の質や環境の改善に向けた取り組みが求められています。

健康医療科学部作業療法学科

国家試験のグループワークには肯定的な意見があり、日本語リテラシーの授業についても好評です。
実習の早い終了や先生方のサポートに感謝する声があります。
カリキュラムの改善や新たな科目の追加に関する提案もあります。
学生数が少ないことで教員との関わりが深く、有意義な学生生活を送ることができたという声もあります。
授業の理解しやすさや臨床での役立ちに関する提案もあります。

総じて、多くの学生は肯定的な意見を持っており、教育環境やカリキュラムの改善に向けた提案もあります。

健康医療科学部理学療法学科

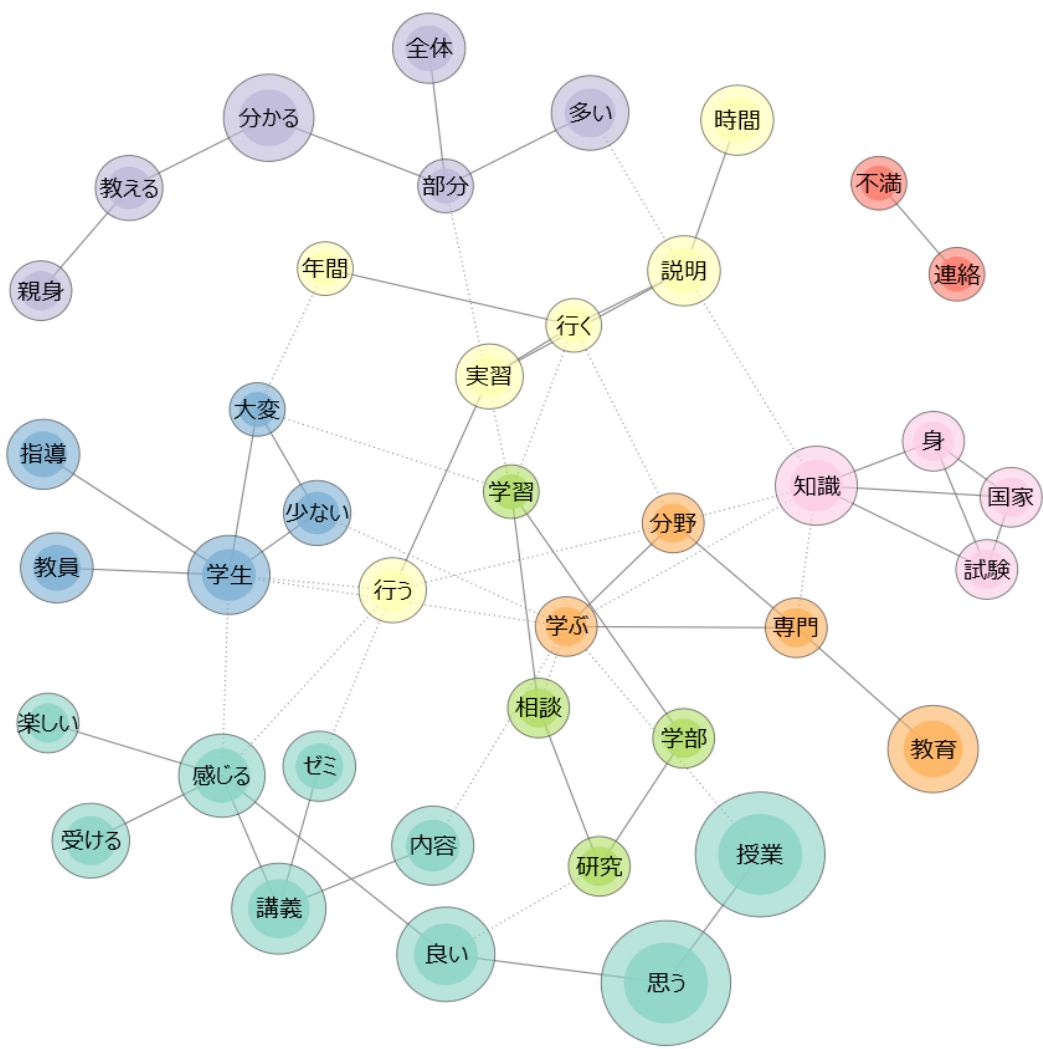
専門的な教育については、各分野の授業が相関関係にあり、総合的な知識を身につけることができたという声があります。
先生方の熱心な指導やサポートに感謝する声が多くあります。
一部の不満や改善すべき点も指摘されています。遅い連絡や授業内容のわかりにくさ、オンライン授業の品質に対する不満が挙げられています。
国家試験対策の早期実施や、専門分野の知識の習得に満足している学生もいます。

総じて、学生たちは教育内容や先生方のサポートについては満足している一方で、一部の問題点や改善すべき点にも言及しています。

心理学部臨床心理学科

先生からの講義内容に対して参考になるものが多く、有意義に感じる学生が多いです。
一部の学生は、より実践的な内容や興味を引くような工夫をしてほしいと感じています。例えば、動画や実際の事例を用いた授業を希望する声があります。
個別の対応やサポートに満足している学生もいますが、一方で人間関係や指導の質に関する不満や提案もあります。
具体的な改善点や要望が挙げられています。例えば、実践的な内容の増加や教授の進行程度の一貫性の確保が挙げられます。

総じて、学生たちは先生方の講義に関しては肯定的な意見が多い一方で、改善すべき点や不満も指摘しています。



Subgraph:

- 01 05
- 02 06
- 03 07
- 04 08

Frequency:

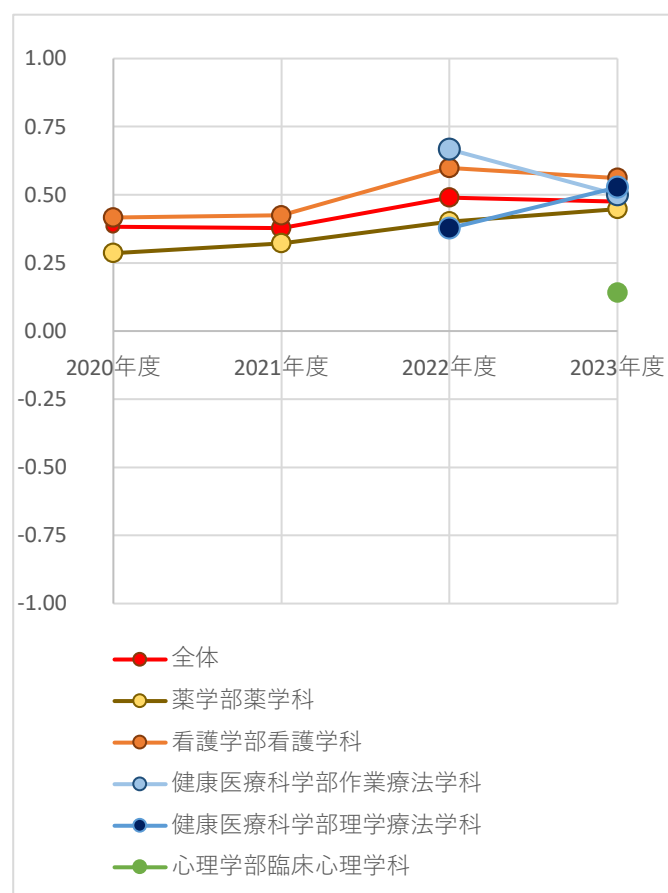
- 5
- 10
- 15
- 20

■身につけた力について

設問10.～23.の各項目について、在学中に身についたかどうかの度合いを該当する番号から選択してください。

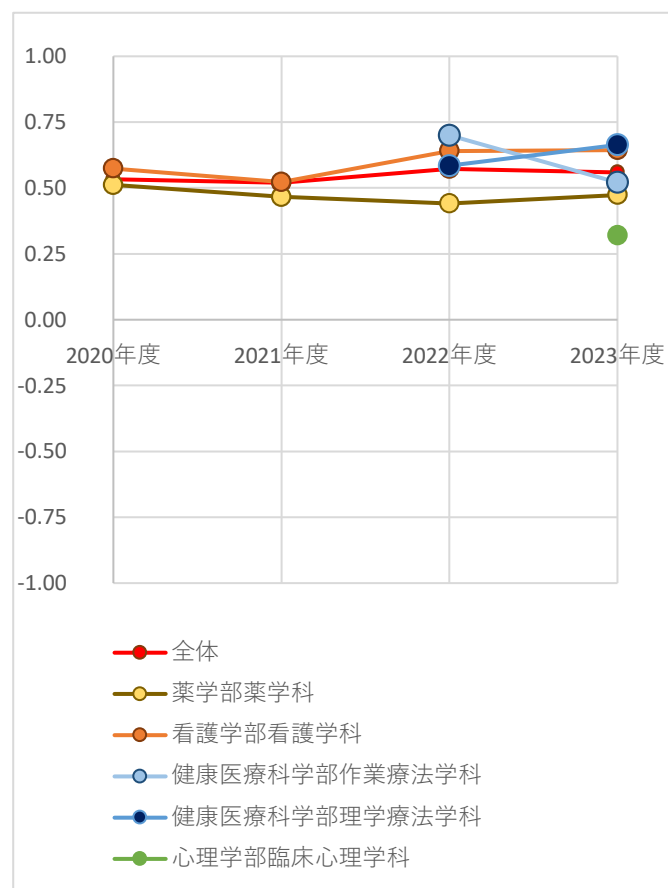
10. チームワーク、リーダーシップ

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.38	0.38	0.49	0.47
薬学部薬学科	0.29	0.32	0.40	0.45
看護学部看護学科	0.42	0.42	0.60	0.56
健康医療科学部作業療法学科			0.67	0.50
健康医療科学部理学療法学科			0.38	0.53
心理学部臨床心理学科				0.14



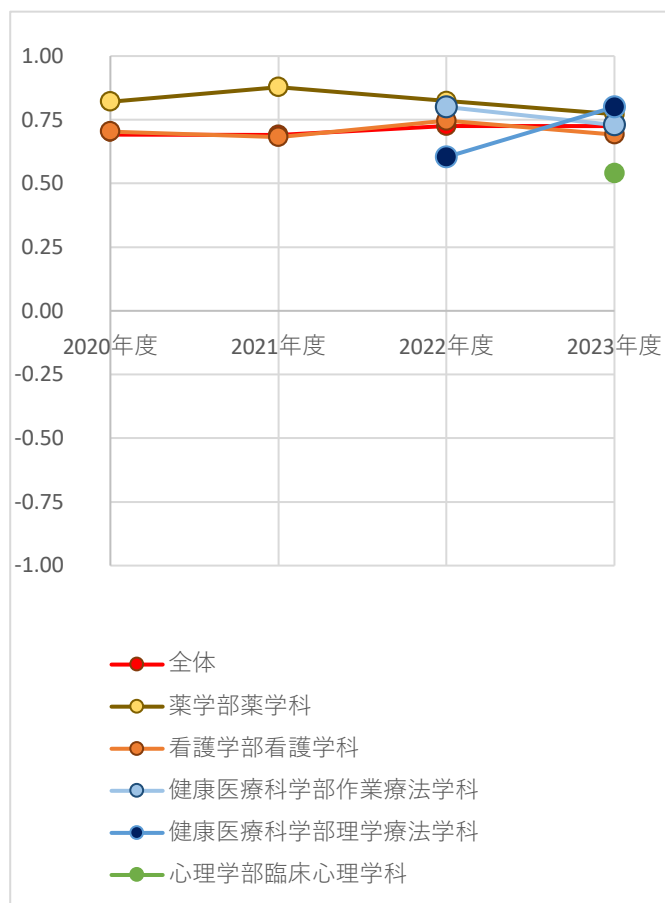
11. コミュニケーション能力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.53	0.52	0.57	0.56
薬学部薬学科	0.51	0.47	0.44	0.47
看護学部看護学科	0.57	0.52	0.64	0.64
健康医療科学部作業療法学科			0.70	0.52
健康医療科学部理学療法学科			0.58	0.66
心理学部臨床心理学科				0.32



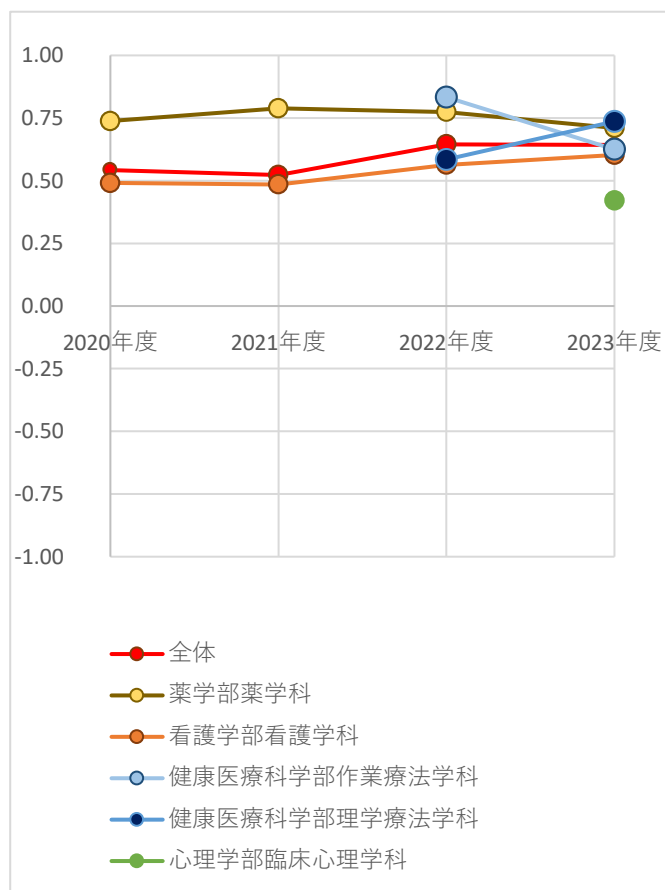
1 2. 専門的な知識

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.69	0.69	0.73	0.72
薬学部薬学科	0.82	0.88	0.82	0.77
看護学部看護学科	0.70	0.68	0.75	0.69
健康医療科学部作業療法学科			0.80	0.73
健康医療科学部理学療法学科			0.60	0.80
心理学部臨床心理学科				0.54



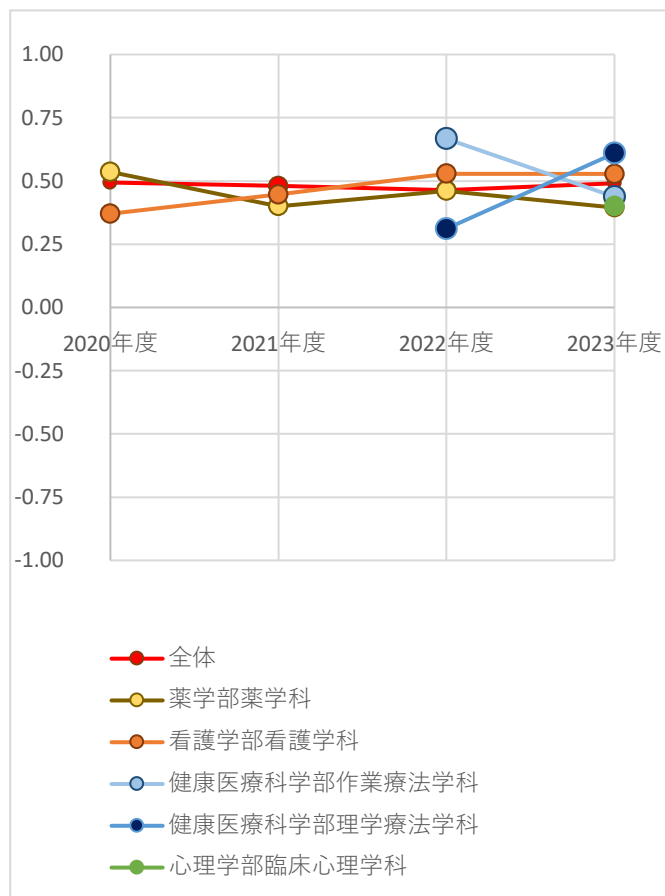
1 3. 専門的な技術や技能

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.54	0.52	0.65	0.64
薬学部薬学科	0.74	0.79	0.77	0.71
看護学部看護学科	0.49	0.48	0.56	0.60
健康医療科学部作業療法学科			0.83	0.63
健康医療科学部理学療法学科			0.58	0.74
心理学部臨床心理学科				0.42



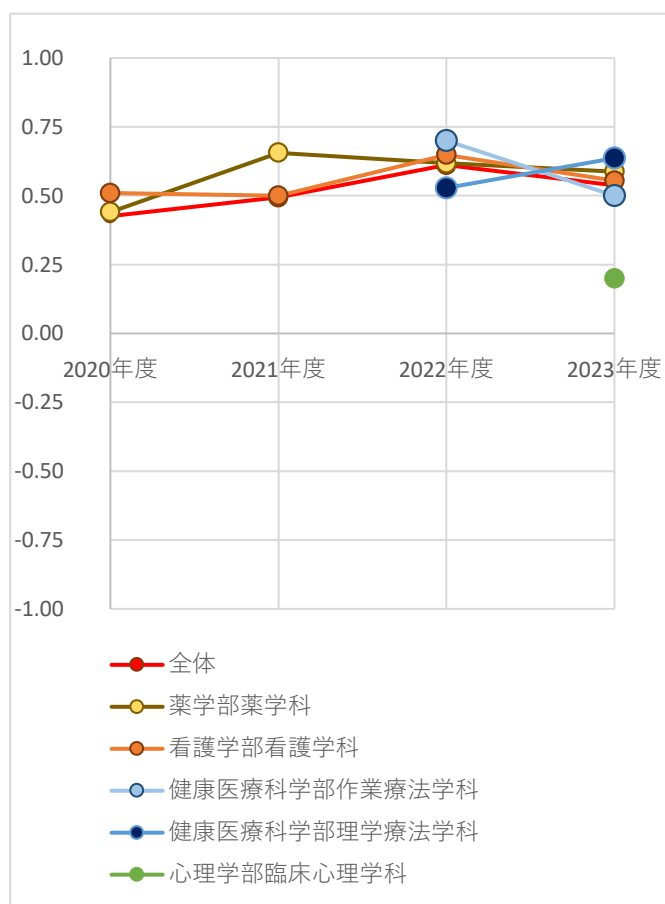
1 4. 幅広い教養、一般的知識

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.49	0.48	0.46	0.49
薬学部薬学科	0.54	0.40	0.46	0.39
看護学部看護学科	0.37	0.45	0.53	0.53
健康医療科学部作業療法学科			0.67	0.44
健康医療科学部理学療法学科			0.31	0.61
心理学部臨床心理学科				0.40



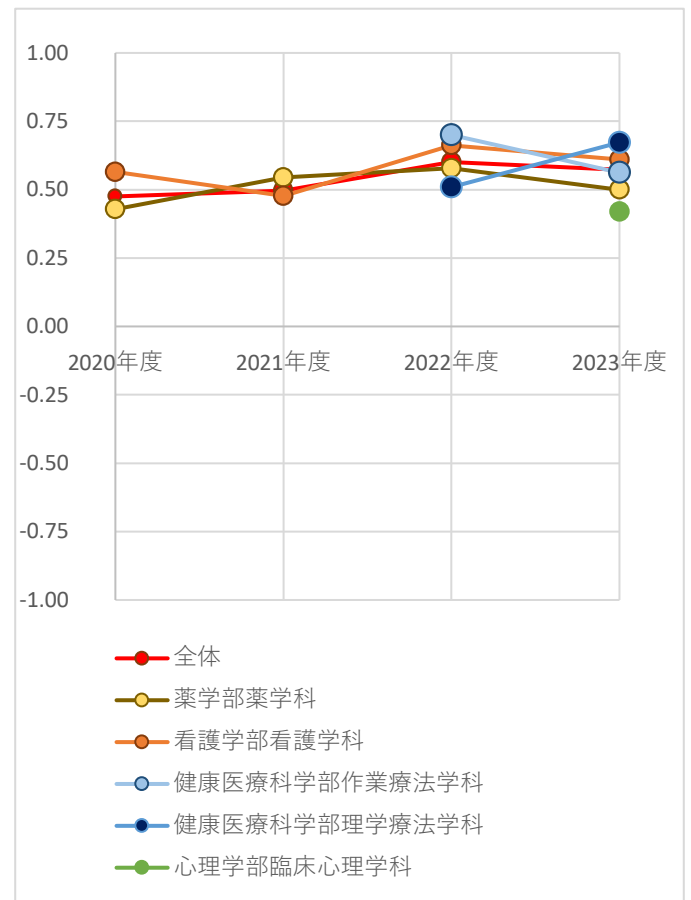
1 5. 学習習慣、自己啓発力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.43	0.49	0.61	0.54
薬学部薬学科	0.44	0.66	0.62	0.59
看護学部看護学科	0.51	0.50	0.65	0.55
健康医療科学部作業療法学科			0.70	0.50
健康医療科学部理学療法学科			0.53	0.64
心理学部臨床心理学科				0.20



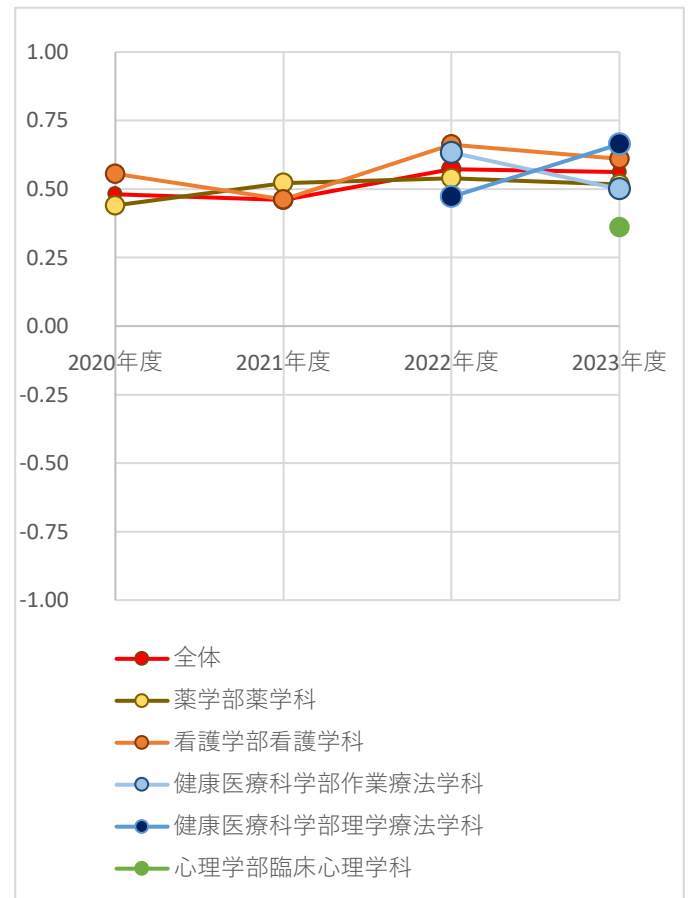
1 6. 自己理解、自己管理能力、主体の行動力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.48	0.50	0.60	0.57
薬学部薬学科	0.43	0.54	0.58	0.50
看護学部看護学科	0.56	0.48	0.66	0.61
健康医療科学部作業療法学科			0.70	0.56
健康医療科学部理学療法学科			0.51	0.67
心理学部臨床心理学科				0.42



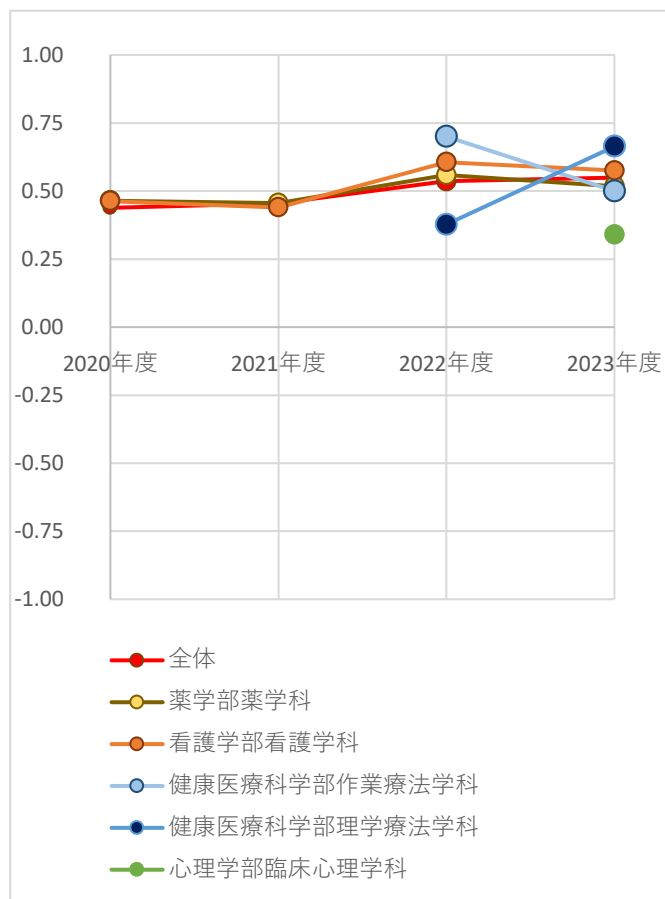
1 7. 課題（問題）発見能力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.48	0.46	0.57	0.56
薬学部薬学科	0.44	0.52	0.54	0.52
看護学部看護学科	0.56	0.46	0.66	0.61
健康医療科学部作業療法学科			0.63	0.50
健康医療科学部理学療法学科			0.47	0.66
心理学部臨床心理学科				0.36



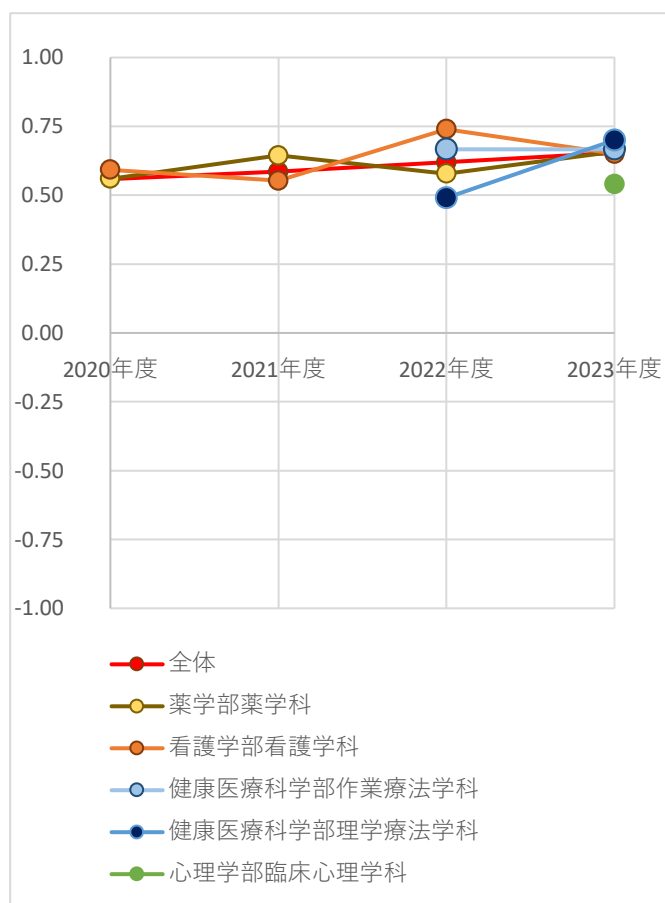
18. 課題（問題）解決能力、企画力、計画力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.44	0.45	0.54	0.55
薬学部薬学科	0.46	0.46	0.56	0.52
看護学部看護学科	0.46	0.44	0.61	0.58
健康医療科学部作業療法学科			0.70	0.50
健康医療科学部理学療法学科			0.38	0.66
心理学部臨床心理学科				0.34



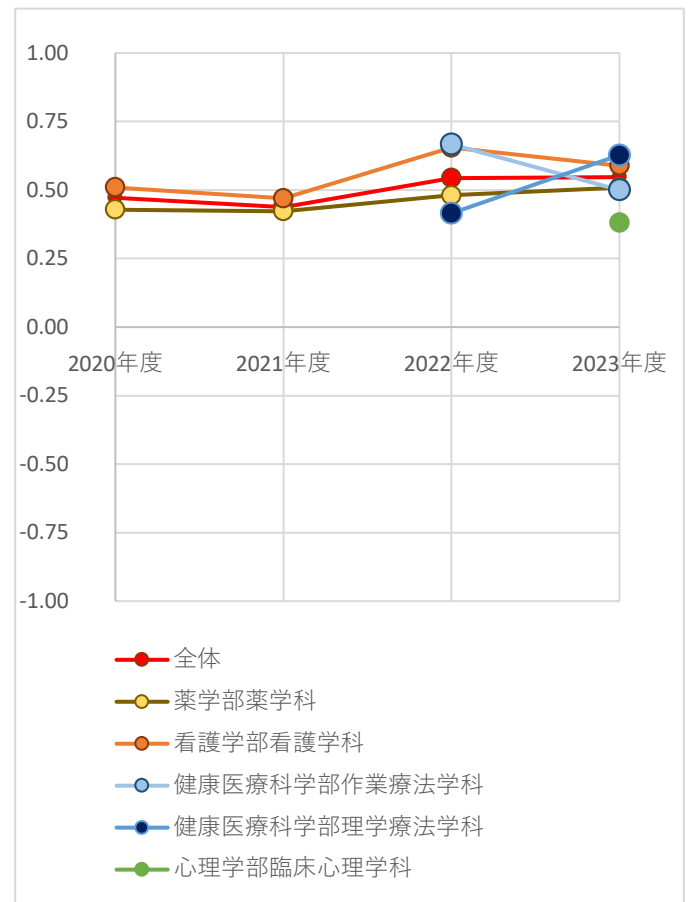
19. 倫理観、モラル、コンプライアンス

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.56	0.59	0.62	0.65
薬学部薬学科	0.56	0.64	0.58	0.66
看護学部看護学科	0.59	0.55	0.74	0.65
健康医療科学部作業療法学科			0.67	0.67
健康医療科学部理学療法学科			0.49	0.70
心理学部臨床心理学科				0.54



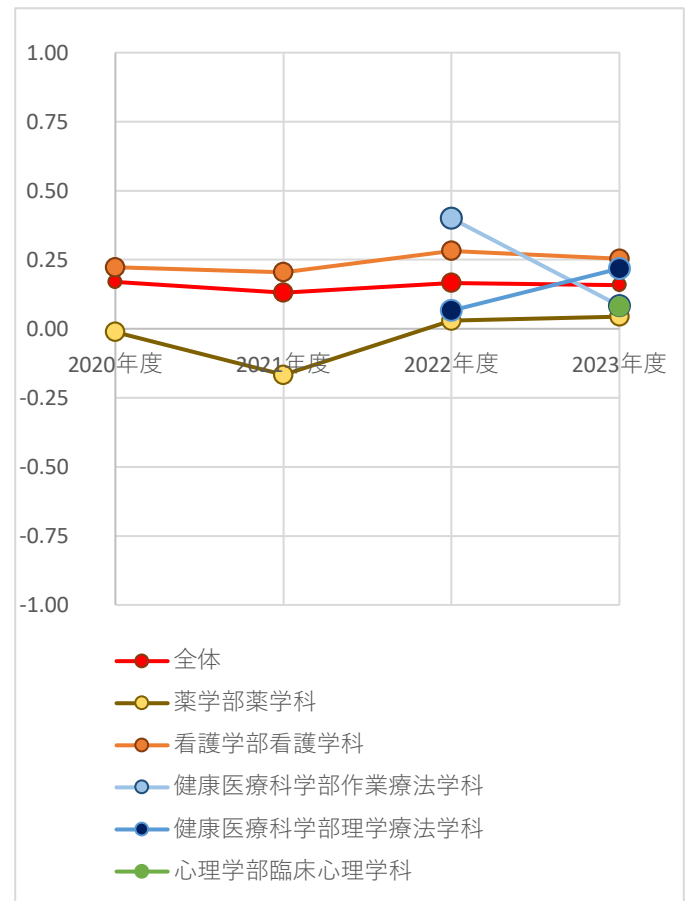
2 0. 創造的、論理的思考力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.47	0.44	0.54	0.55
薬学部薬学科	0.43	0.42	0.48	0.51
看護学部看護学科	0.51	0.47	0.65	0.59
健康医療科学部作業療法学科			0.67	0.50
健康医療科学部理学療法学科			0.42	0.63
心理学部臨床心理学科				0.38



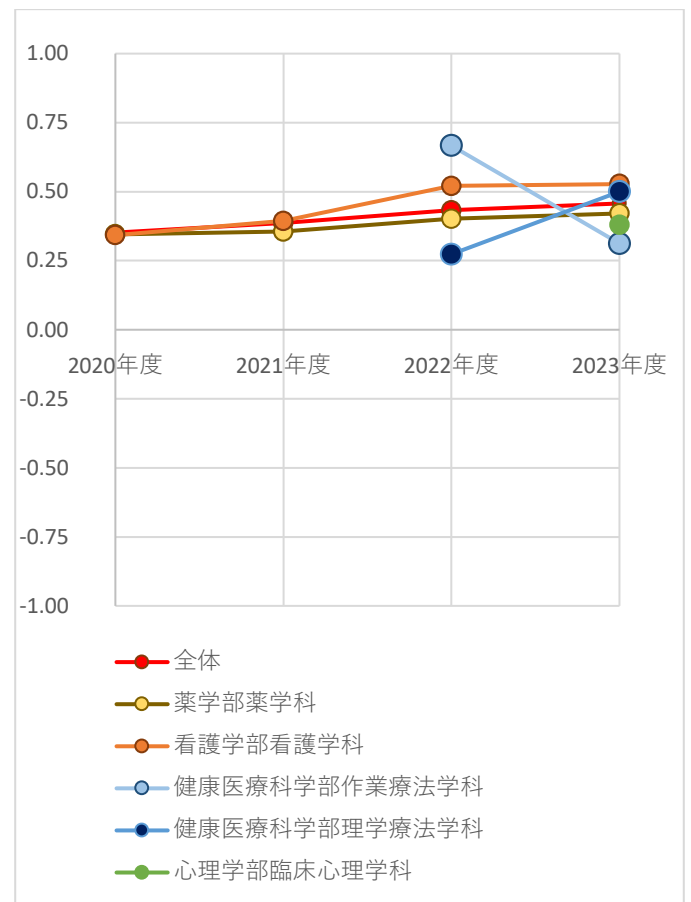
2 1. 国際感覚、異文化理解力、外国語運用能力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.17	0.13	0.17	0.16
薬学部薬学科	-0.01	-0.17	0.03	0.04
看護学部看護学科	0.22	0.20	0.28	0.25
健康医療科学部作業療法学科			0.40	0.08
健康医療科学部理学療法学科			0.07	0.22
心理学部臨床心理学科				0.08



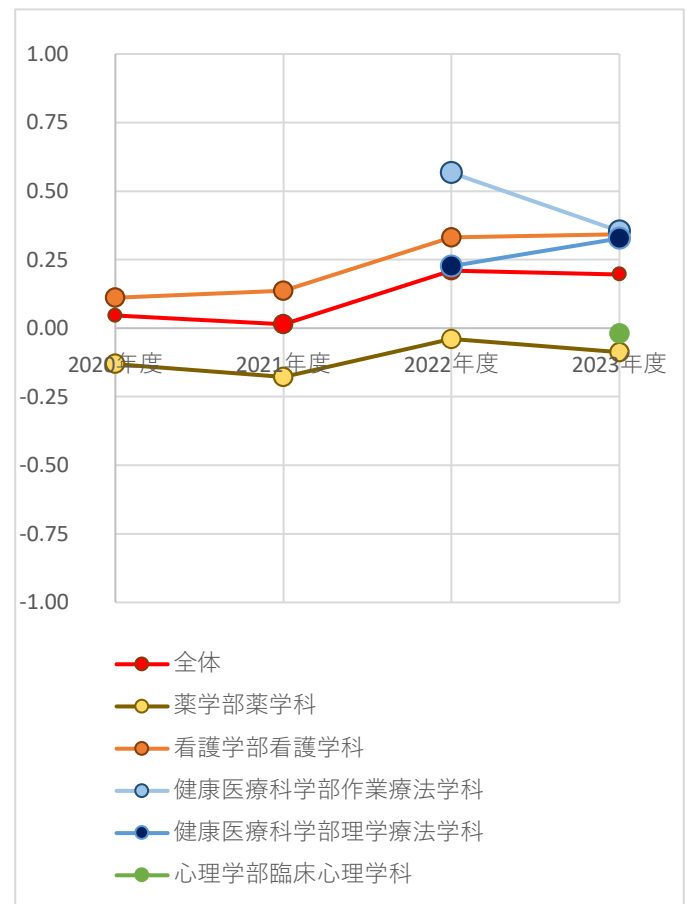
2.2. 読解力、文章表現力、数の処理能力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.35	0.39	0.43	0.46
薬学部薬学科	0.35	0.36	0.40	0.42
看護学部看護学科	0.34	0.39	0.52	0.53
健康医療科学部作業療法学科			0.67	0.31
健康医療科学部理学療法学科			0.27	0.50
心理学部臨床心理学科				0.38



2.3. ボランティア活動

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.05	0.01	0.21	0.20
薬学部薬学科	-0.13	-0.18	-0.04	-0.09
看護学部看護学科	0.11	0.14	0.33	0.34
健康医療科学部作業療法学科			0.57	0.35
健康医療科学部理学療法学科			0.23	0.33
心理学部臨床心理学科				-0.02



24. 上記、設問9～23の「身につけた力」について、具体的な内容がありましたら、お書きください。

詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

作業療法学科

一般教養を学んだ。
臨床実習を通じて、患者の課題を見つけ、アプローチ方法を考えられるようになった。
介護施設でのボランティア活動や国家試験の勉強を通じて多くを学んだ。

看護学科

コミュニケーション能力が向上し、スムーズに会話できるようになった。
実習で問題理解や必要な知識を活用した。
男子はリーダーシップを養い、自主的に行動するようになった。
グループワークを通じて他人の意見を尊重し、自分の意見を話す力が身についた。
人間関係をうまく築く方法や論理的に考える力が養われた。
様々なことに挑戦する機会があった。

臨床心理学科

比較、推察、検証、論文構成などの深く思考する能力が身についた。
多くのスキルは学外活動で身につけた。
チーム活動で他の意見を取り入れるために積極的に声掛けを行い、より良い解決策を見つける力を養った。

薬学科

薬学の知識を学んだ。
自分の考えを発信する力や、苦手な人とのコミュニケーションの取り方を身につけた。
「特になし」という回答が複数見られた。

理学療法学科

コミュニケーション能力とメンタル面の強化。
コロナの影響で交友を深めるのが遅くなったと感じた。
グループワークと実習を通じてコミュニケーション能力が向上した。

25. 上記、設問9～23の項目以外で在学中に身につけることができたと思うことがありましたらをご記入ください。

詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

作業療法学科

特になし

一年次の一般教養があまり身についたと実感がないため、その部分が今後身につけたい

看護学科

特になし

先輩、後輩との関わり方

高校生までは違う大人の人間関係

自主的に学習する行動力

臨床心理学科

自分だけでできないことが起きた時に友人や教授に頼ることを行った。助言を受けることで効率よく解決できるため

薬学科

特になし(複数)

理学療法学科

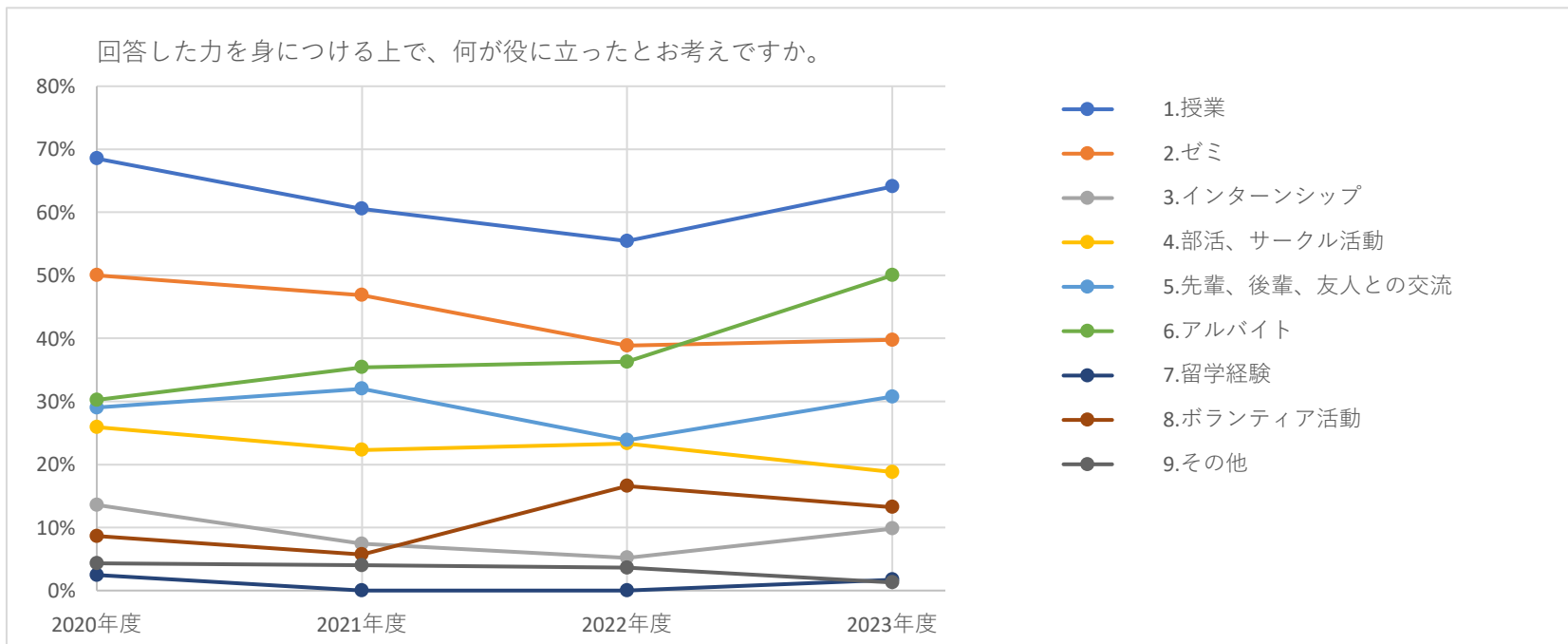
比較的誰にでも優しくできるようになった

実習での忍耐力

礼儀

26. 上記問9～問25で回答した力を身につける上で、何が役に立ったとお考えですか。（複数回答可）

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1.授業	111[人]	68.5%	106[人]	60.6%	107[人]	55.4%	150[人]	64.1%
2.ゼミ	81[人]	50.0%	82[人]	46.9%	75[人]	38.9%	93[人]	39.7%
3.インターンシップ	22[人]	13.6%	13[人]	7.4%	10[人]	5.2%	23[人]	9.8%
4.部活、サークル活動	42[人]	25.9%	39[人]	22.3%	45[人]	23.3%	44[人]	18.8%
5.先輩、後輩、友人との交流	47[人]	29.0%	56[人]	32.0%	46[人]	23.8%	72[人]	30.8%
6.アルバイト	49[人]	30.2%	62[人]	35.4%	70[人]	36.3%	117[人]	50.0%
7.留学経験	4[人]	2.5%	0[人]	0.0%	0[人]	0.0%	4[人]	1.7%
8.ボランティア活動	14[人]	8.6%	10[人]	5.7%	32[人]	16.6%	31[人]	13.2%
9.その他	7[人]	4.3%	7[人]	4.0%	7[人]	3.6%	3[人]	1.3%



※詳細は詳細は自由記述編をご覧ください

27. 上記問26で「その他」を選択した方は、その他、役に立ったことをご記入ください。

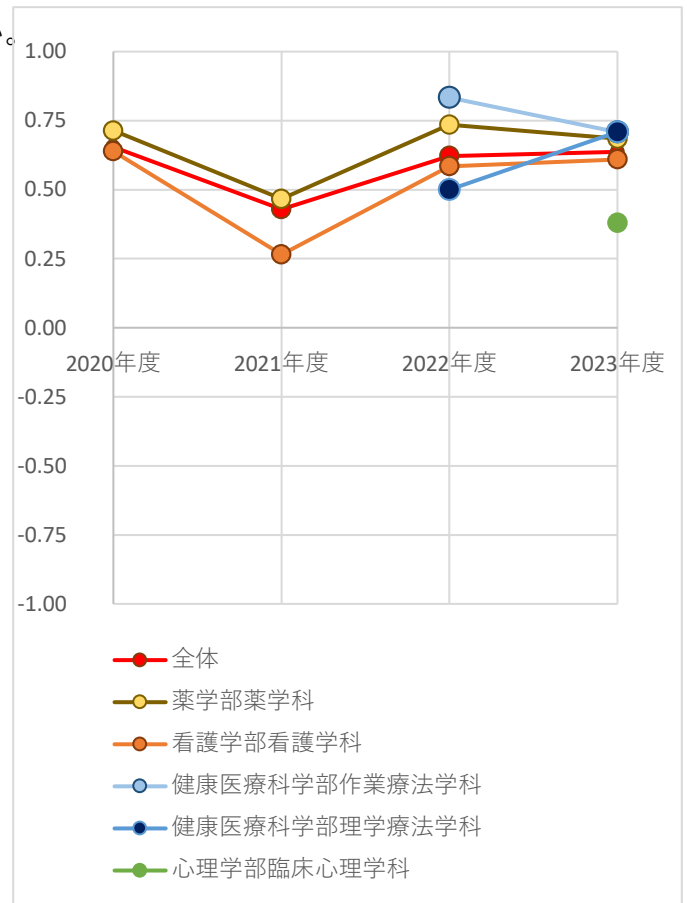
詳細は自由記述編をご覧ください

■総合評価

28. 所属の学部学科に入って良かったと思いますか？該当する番号を選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.65	0.43	0.62	0.64
薬学部薬学科	0.71	0.47	0.74	0.68
看護学部看護学科	0.64	0.27	0.58	0.61
健康医療科学部作業療法学科			0.83	0.71
健康医療科学部理学療法学科			0.50	0.71
心理学部臨床心理学科				0.38

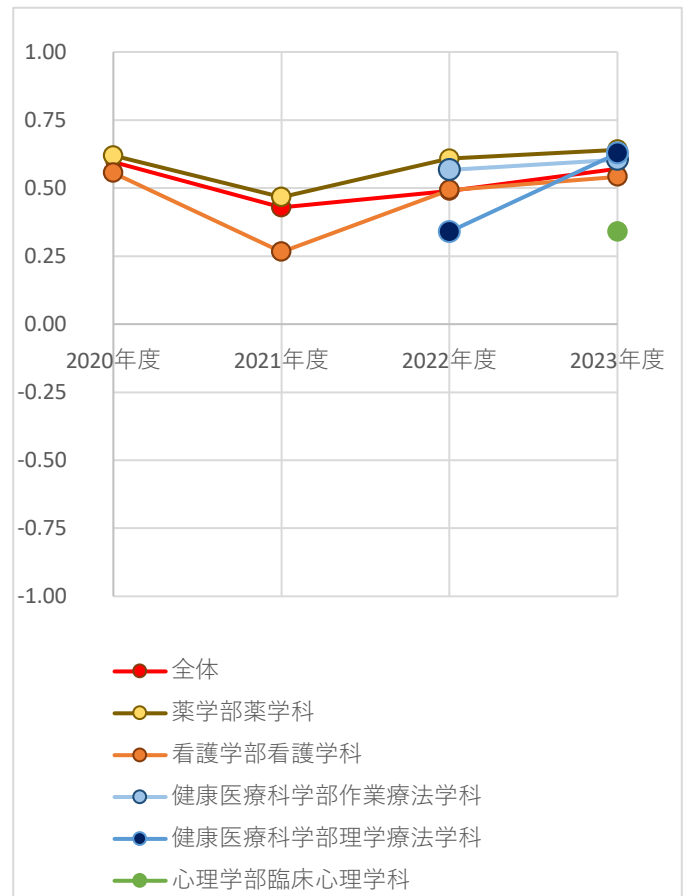
※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の設定のない4段階評価としている。



29. 卒業学部学科に対する満足度をお伺いします。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.60	0.43	0.49	0.57
薬学部薬学科	0.62	0.47	0.61	0.64
看護学部看護学科	0.56	0.27	0.49	0.54
健康医療科学部作業療法学科			0.57	0.60
健康医療科学部理学療法学科			0.34	0.63
心理学部臨床心理学科				0.34

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない4段階評価としている。



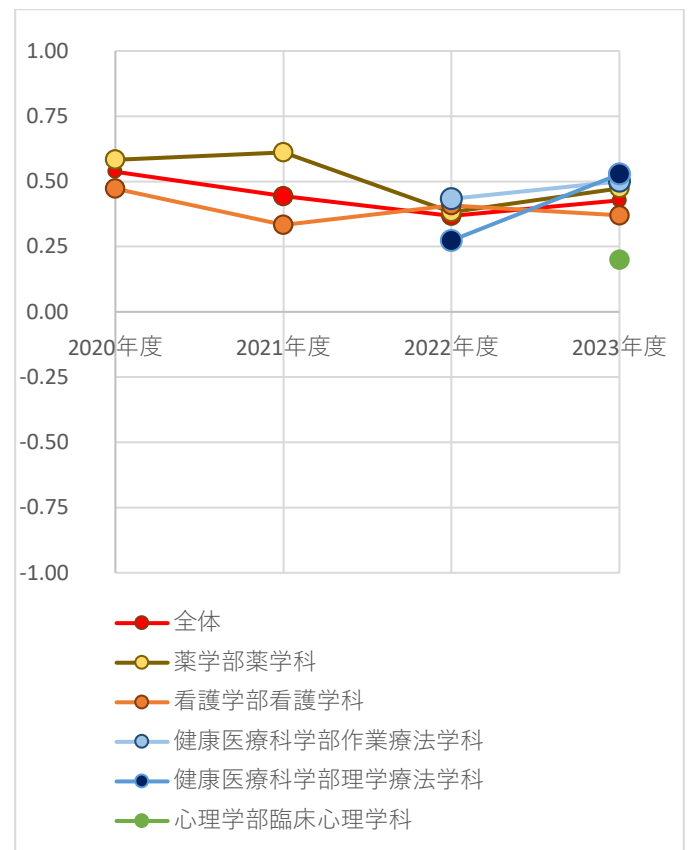
30. 本学は第一希望の大学でしたか？該当する番号を選択してください。

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	
1.はい	94[人]	58.0%	105[人]	60.0%	115[人]	59.0%	135[人]	57.7%
2.いいえ	68[人]	42.0%	70[人]	40.0%	80[人]	41.0%	99[人]	42.3%

3 1. 卒業を迎えるにあたり、大学に対する評価を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全体	0.54	0.44	0.37	0.43
薬学部薬学科	0.58	0.61	0.38	0.47
看護学部看護学科	0.47	0.33	0.41	0.37
健康医療科学部作業療法学科			0.43	0.50
健康医療科学部理学療法学科			0.27	0.53
心理学部臨床心理学科				0.20

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。



生成AIによる自由記述の要約

満足している点

1. 人間関係と成長:

看護学科: 「人間関係が良かった」「成長ができる学科だった」

理学療法学科: 「自分の性格に合っている大学」「先生方と話しやすい環境」「先生方が熱心にサポートしてくれた」

2. 対応力:

理学療法学科: 「新型コロナウイルス蔓延時の適切な対応」

3. 教育環境:

看護学科: 「専門の先生の前で学べる」「スキル向上」

薬学科: 「チューター制度が良かった」「専門の先生が多い」

臨床心理学科: 「図書館や学習センターの利用」「文化祭の良い思い出」

4. サポート:

作業療法学科: 「先生方のサポートが手厚かった」「友人や先生方の支え」

改善が望まれる点

1. コミュニケーション:

薬学科: 「連絡事項が遅い」「情報の共有不足」

看護学科: 「連絡が遅い」「他学部との交流が少ない」

2. 設備と環境:

作業療法学科: 「Wi-Fiやマイクの不備」「図書館の利用時間」「照明の暗さ」

理学療法学科: 「学食までの距離」

3. 教育内容:

看護学科: 「講義内容や補習方法に改善の余地」

臨床心理学科: 「講義の不満」「国試への不安」

不満点

1. 教育方法:

臨床心理学科:「授業で個々の能力を伸ばす工夫が不足」「一部講義に不満」

看護学科:「過度な期待が外れた」「学習への対応」

2. 大学の方針:

臨床心理学科:「教務課の対応が悪い」「ハラスメント問題」「卒業基準の曖昧さ」

3. 環境と治安:

臨床心理学科:「治安の悪さ」「大学周辺の環境」

結論

多くの学生が大学生活に満足している一方で、連絡の遅さや教育内容の改善、設備環境への不満が指摘されています。特にハラスメント問題や卒業基準の曖昧さに対する不満は深刻で、これらの問題に対する大学側の迅速な対応が求められます。

3 2. あなたの家族や親類、友人や知人が本学への入学を検討している場合、進学を勧めますか。

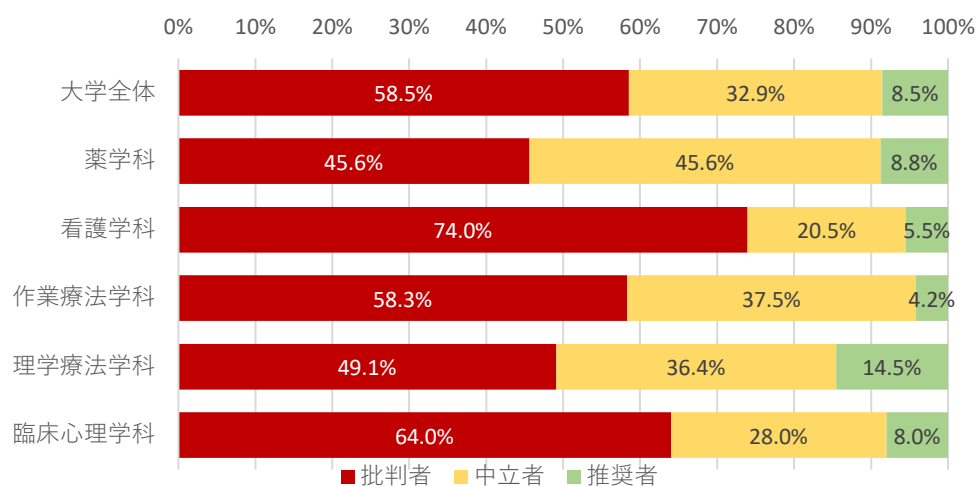
10(強く勧める)~0(まったく勧めない)の数値を選択してください。

	2022年度				2023年度				
	批判者 0~6	中立者 7~8	推奨者 9~10	NPS	批判者 0~6	中立者 7~8	推奨者 9~10	NPS	対前年 (NPS差分)
全体	66.3%	24.9%	8.8%	-57.5%	58.5%	32.9%	8.5%	-50.0%	+7.5%
薬学部薬学科	62.7%	31.4%	5.9%	-56.9%	45.6%	45.6%	8.8%	-36.8%	+20.0%
看護学部看護学科	64.8%	25.4%	9.9%	-54.9%	74.0%	20.5%	5.5%	-68.5%	-13.6%
健康医療科学部作業療法学科	53.3%	26.7%	20.0%	-33.3%	58.3%	37.5%	4.2%	-54.2%	-20.8%
健康医療科学部理学療法学科	73.6%	18.9%	7.5%	-66.0%	49.1%	36.4%	14.5%	-34.5%	+31.5%
心理学部臨床心理学科	-	-	-	-	64.0%	28.0%	8.0%	-56.0%	-

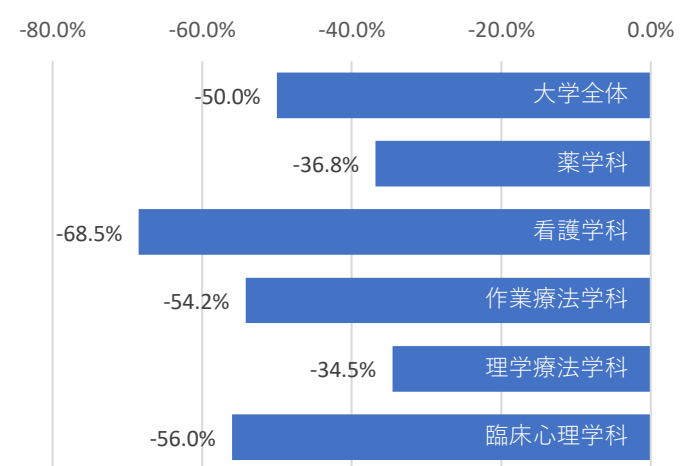
※サンプル数が少ないため、他集団(学年)の予測値としては利用できません。

NPS = 推奨者 - 批判者

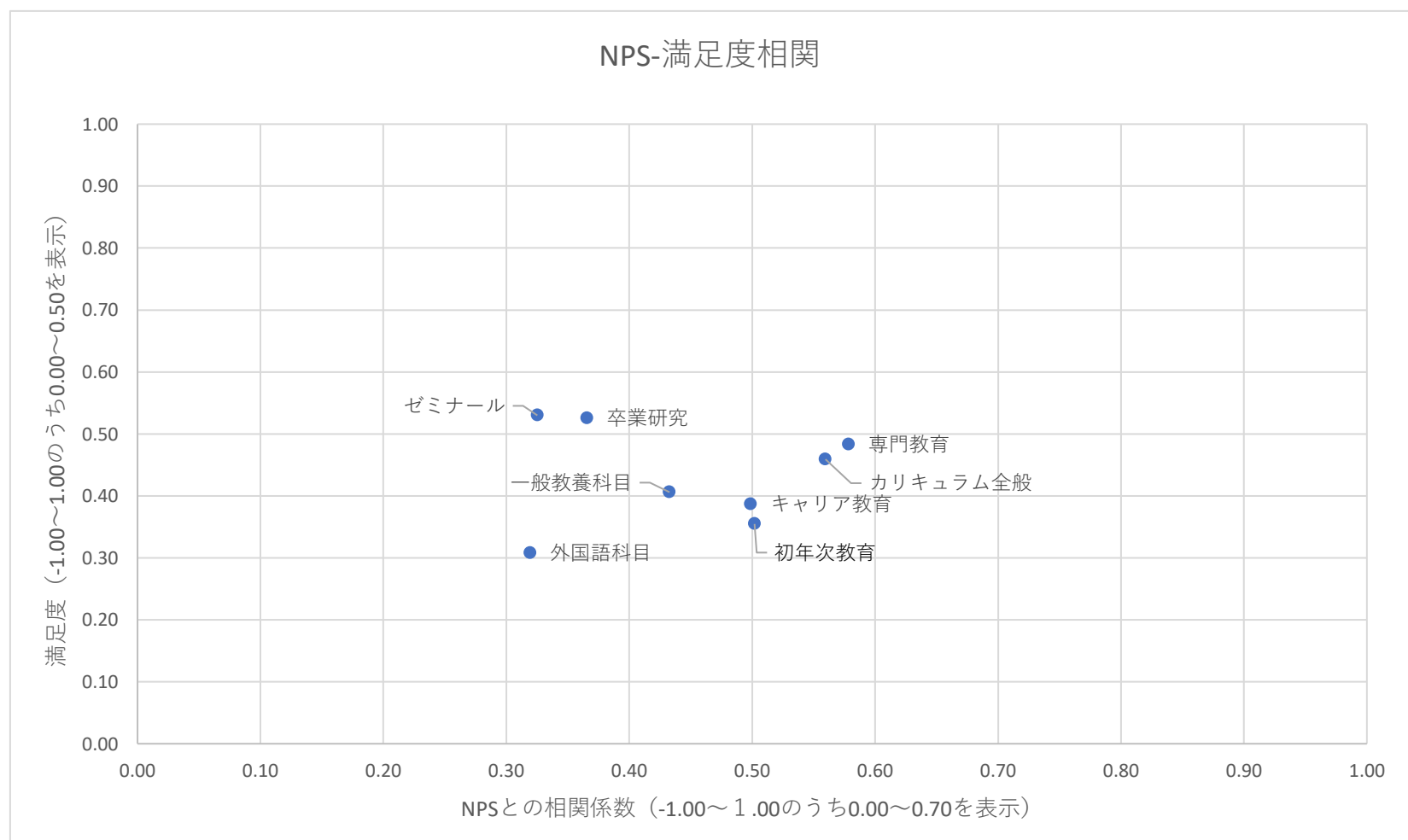
2023年度 回答



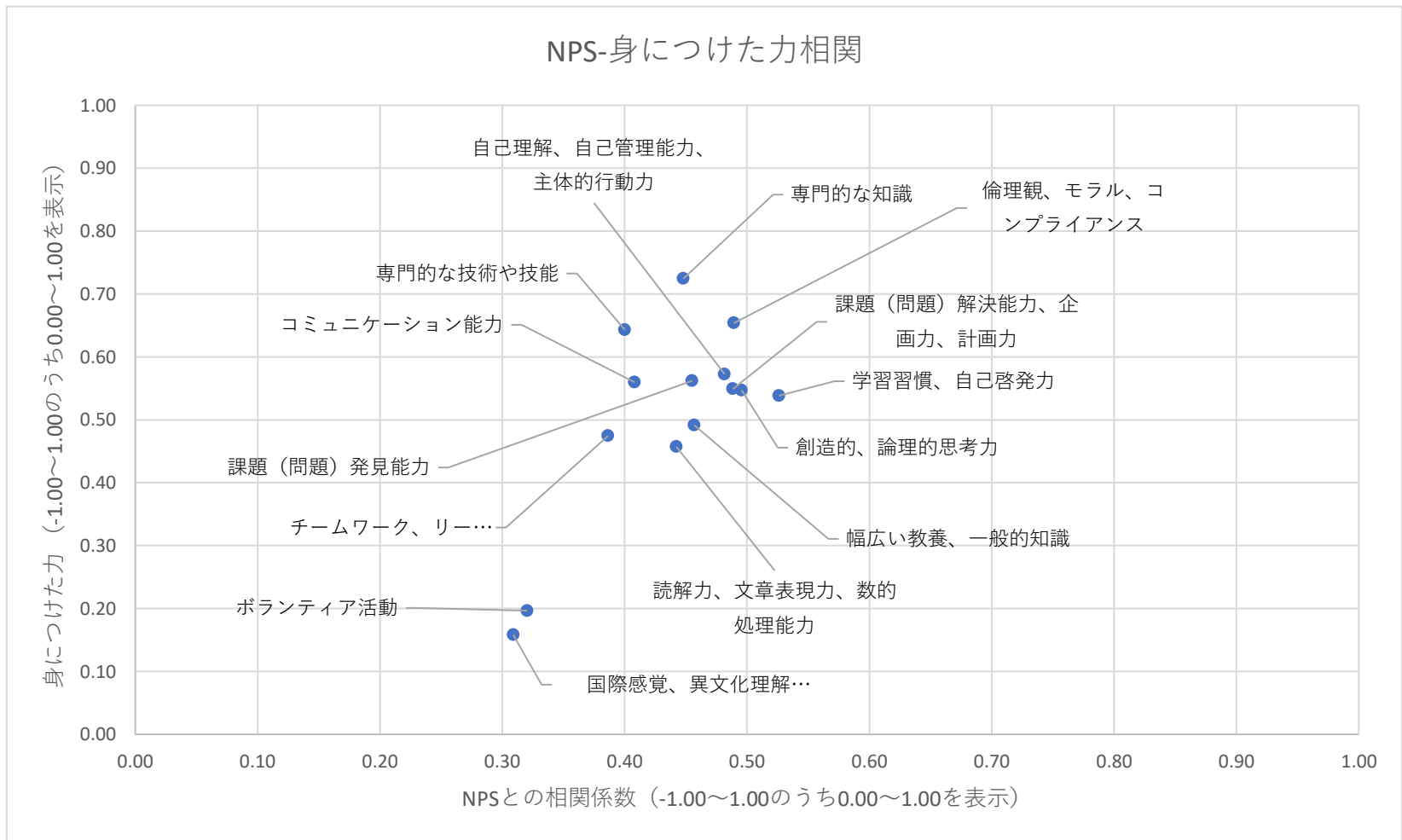
2023年度 NPS



■NPSと教育に対する満足度の各項目との相関



■NPSと身につけた力との相関



34. その他、何かご意見・ご要望がありましたらお書きください。

詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

作業療法学科

提出が遅れたことに対する謝罪。
勉強を頑張る学生への支援制度の導入を希望。
国家試験対策のグループワークは模試の成績順に組むべき。
授業にカルテの使い方を含め、グループワークの編成は先生が行うべき。
感謝の言葉(複数)。
オンライン授業の不安を乗り越え、楽しい学生生活を送れたことへの感謝。
3D図解や実物を用いた説明、教員の体験談を求める。

看護学科

他学部や学部内での交流を増やすことを希望。
特になし(複数)。

臨床心理学科

一部教員の威圧的な態度ややる気のない授業の改善を希望。
事務局への感謝。
通信環境の改善を希望、特に教室外のエリア。

薬学科

特になし(複数)。
入学者増加のための宣伝の工夫を希望。
自習室のエアコン問題の改善を希望。

理学療法学科

感謝の言葉(複数)。
特になし(複数)。